

笛吹警察署協議会 令和7年度第3回定例会議 議事概要

開催日	令和7年12月4日（木）
開催場所	笛吹警察署3階大会議室
出席者	協議会 会長及び委員 6名 警察署 署長、副署長、地域交通管理官、刑事官、課長等 12名
議事概要等	<p>1 各課長から令和7年7月～9月中の業務推進状況の説明</p> <p>(1) 会計課関係 ア 施設の主な保守・修繕状況 イ 遺失・拾得物の取扱状況</p> <p>(2) 警務課関係 ア 行事関係 イ 留置管理関係 ウ 警察安全相談関係</p> <p>(3) 生活安全課関係 ア 犯罪抑止対策 イ 各種犯罪の検挙及び少年補導の推進状況</p> <p>(4) 地域課関係 ア 通報受理件数（有効件数） イ 主な地域活動及び教養訓練等</p> <p>(5) 刑事第一課関係 ア 刑法犯罪認知・検挙状況 イ 主要犯罪検挙状況 ウ 主要推進施策</p> <p>(6) 刑事第二課関係 ア 電話詐欺及び投資・ロマンス詐欺発生状況 イ 事件検挙 ウ 各種施策 エ 今後の推進施策</p> <p>(7) 交通課関係 ア 交通事故の発生状況 イ 主な交通事故防止活動の状況</p> <p>(8) 警備課関係 ア 第27回参議院議員通常選挙における警護警備 イ 笛吹警察署サイバーセキュリティ情報共有会議の開催 ウ 国際交流笛吹地域連絡協議会事業「外国人技能実習生との交流会」の開催 エ 笛吹警察署災害警備訓練の実施 オ 出入国管理局との合同摘発の実施及び出入国管理及び難民認定法違反被疑者の検挙</p>

2 令和8年上半期の速度取締指針の諮問について 《諮問》

規制速度を超過した人身交通事故発生状況（R2.8～R7.8）について分析した結果、令和8年上半期の速度取締重点路線、時間帯については

国道20号 10:00～14:00 16:00～20:00

国道137号 7:00～14:00 16:00～20:00

国道411号 6:00～12:00 14:00～20:00

としたい。

《答申》

諮問のとおり

3 意見・要望等

(1) 笛吹警察署の管内で発生している、警察官を騙る電話詐欺事件の事例を教えて欲しい。

【回答】

最近では、電話会社を騙る音声アナウンスから、大量購入した品物の代金支払いと、山梨県警以外の警察への出頭などを求めた後、被害者をスマートフォンのアプリを利用した音声通話に誘導し、ニセ警察官とのやり取りにより詐欺に引きずり込む手口が発生している。また、犯罪グループの一員である疑いを晴らすため資産を確認する等として、金塊を郵便受けに置くよう求められ奪われる被害も発生している。

(2) 「熊」被害への対策を教えて欲しい。

【回答】

人が活動する地域へ野生動物を近づけない対策として、屋外に動物が好む食べ物やゴミなどを放置しないことや、朝晩等の外出を控えるなどについて、市などと協力して呼びかけている。

また、目撃情報が寄せられた場合の対策として

1 市役所との情報共有体制の確立と、防災無線を活用した広報活動

2 教育委員会と連携しての児童の安全確保

3 当署地域課と連携した、子供たちの登下校時における見守り活動

4 熊等の目撃情報があった現場における、広報用マイクによる集中的注意喚起

5 「ふじくん安心メール」の情報発信による注意の呼び掛け

以上5点を実施している。

(3) 年末年始を迎える飲酒の機会が増えるが、飲酒運転に対しては、どのような対策を考えているのか。

【回答】

山梨県の飲酒運転での人身事故発生率は全国ワーストであり危機的な状況である。笛吹警察署では、昨年度から夜間の飲酒取締りの他に、日中の飲酒取締りを強化し、令和6年には前年比1.5倍の検挙をしている。

年末年始には飲酒の機会も増加することから、県警本部や隣接警察署と連携し、合同の飲酒検問を実施する等して、飲酒運転撲滅を推進する。

(4) 新たに開通した道路に危険な交差点があるため、点滅信号を設置して欲しい。

【回答】

当該交差点は、交通量が増加しており交通事故の発生も認められるため注意が必要な交差点であると認識している。点滅信号については、災害時に倒壊した場合の被害が大きく、電源の復旧も困難であること等から警察庁から撤去の指針が示されている。また、既に点滅信号機は製造されていない状況もあるため新規の設置は困難である。代替として、一時停止の

交差点となるが、見やすい標識やドットマーク、LED発光のほか、道路管理者や敷地所有者等と協力して交差点改良を行い、視認性の良い交差点をつくっていきたい。

(5) 窃盗事件被疑者の外国人と日本人の割合について教えて欲しい。

【回答】

窃盗事件で検挙された、被疑者の国籍の割合については、現時点では資料が無いため正確な回答は難しい。しかし、当署検挙の窃盗被疑者については、感覚として外国籍の者が多いという印象はない。また、特定の国籍の被疑者が多いとも感じていない。

開催状況



会長挨拶



署長挨拶



業務推進状況の説明



委員からの質問